

三木通信

発行所 岡山市原尾島一丁目一十八
 発行人 三木亮治後援会

市議一年の市政報告

後援会だより創刊

昨年四月二十三日の市議選初当選以来、私は、全力で市政発展の為、頑張ってきました。ここまでこれましたのも、日頃よりご支援下さいました皆様方のおかげと、心より御礼申し上げます。ここに後援会だより「三木通信」を発刊し、私の議員活動をご報告させて頂き戴きます。今後共、皆様方からのご意見・ご要望を糧とし、新しい岡山市を築く為、日々努力をしてゆく決意です。どうぞ変わらぬ御支持・ご支援を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

本会議で必ず質問

年間四回行われる定例議会で毎回質問をする。高島駅で毎週街頭演説をする。これが私の最低限の目標でした。この一年、何とか実行することができました。議会での質問



は、行政をチェックする場であり、市民の皆様のご意見等を代弁する場であり、また自らの政治姿勢等をアピールする場でもあります。一年生の議員の私にとっては、最大の学習の場であります。以下、簡単にこの一年間の質問内容をご報告させて頂きます。

○六月議会
 (1) 西大寺新産業ゾーンについて
 (2) 市立幼稚園の三歳児保育推進について

○九月議会
 (1) 縦割行政の矛盾と

調整機能の充実について
 ○十二月議会
 (1) 学区再編と学校施設の充実について
 (2) 国体開催にともなう道路等の整備について

○二月議会
 (1) コミュニティハウス設置

簡潔な質問

九月議会において「縦割り行政の矛盾と調整機能の充実」というテーマで質問をしました。質問時間五分、翌日の山陽新聞を読んでビックリ。この三十年間で最短の質問時間であったそうです。実は当初、私が書いた原稿は、約二十枚あったのですが、聞いて解った部分、重箱の隅をつ

伯父のおもいで

昭和三十九年九月二十一日に伯父 三木行治が死去し、本年は三十三回忌をむ



故 三木行治

かえます。

不幸の最も大きな原因となる貧困を憎み、いつも思いやりのある人でした。孫程の年の私を伯父は、大変愛し、いつもこの詩を読んでもくれました。ウイリアム・ブレイク作。

ひとの悩みを 見殺しに
 悲しまないで おれようか
 ひとの嘆きを 見殺しに
 いたわらないで おれようか
 落ちる涙を 見すまして
 悲しみもせず おれようか

所属会派は「新風会」

「新風会」

清新で清潔な政治姿勢、そして市民本位の立場にたった政治を实践する為に十一名の議員が結成した会派が三木の所属する「新風会」です。議会内では、第二会派です。

相談役 高木 悦夫
 団長 垣下 文正
 幹事長 堀川 進

(以下当選回数順)

大橋 英雄 田中 昭三
 脇本 一郎 磯村 博
 梶原 昌一 貝原信三郎
 伏見源十郎 三木 亮治

高島駅での市政報告

公約の実践を一年間継続



本日に不安でした。また原稿を片手に持って実にはたどたどしいものだったと思います。今でも一人、この道具を使って演説をしているのですが、原稿は全く、無用のものとなりました。

街頭演説は、ライブコンサートと同じだと思います。生の声で不特定多数の人々に自らの考え方を訴えかける。街頭演説をしている姿を見て、手をふってくれる通勤、

通学の市民、クラクションを鳴らすドライバー、握手を求めてくる市民、その表現のしかたに違いはあっても、生の反応は確実にあるのです。

市民の皆様とのコミュニケーションを大切に、ご意見等をお聞きすることは、政治の第一歩と考えています。ミニ集会や、新聞の発行も重要ですが、この街頭演説、できる限り継続させたいと考えております。

中核市へ移行

本年四月一日より、岡山市は、全国十一市とともに、中核市へ移行しました。

保健福祉関係を中心とした八百四の権限が、県より移管され、政令市に次ぐ、権限を保有するまさにAランクの都市となったのです。これによってより身近な、きめ細かい、スピーディーな市民サービスが可能となりました。その一方で、岡山県からは、

六月議会の最終日、二十七日に岡山市議会史上初の七党派統一の緊急質問が行われました。

平成十七年度開催予定の国体について、その費用負担が県とどのように協議されているのか、という事を市長に問うものでありました。

十二月、二月、この六月議会の質問戦の中で、たびたびこの質問が出されてきたのですが、

市長からは、明快な答弁が、得られなかった事、そして六月二十一日の県議会一般質問で

松山議員国体主会場整備計画の質問に対し、知事が、

岡山市の都市公園

の中に県が陸上競技場等を整備してゆきたいと考えていると答弁し、用地費、造成費等は、市で責任を持つというニュアンスを市議会が受けとめた事が、七党派統一の緊急質問の理由となったのです。

では、質問の内容について以下、簡単に紹介致します。

一、岡山市に主会場が決定し、本市が用地の確保を

緊急質問

どうなるの？ 国体費用負担

することになった時の県とのやりとり、その後の交渉の経緯について

二、知事の答弁の内容について事前に相談や協議を受けていたのか

三、用地確保とは、用地事務だけの事か

四、県市間の費用負担、役割分担に関する協定とか締結するのか

五、他都市における県・市の費用負担等について

六、第五次岡山県総合福祉計画を知事答弁の関係が不明確だが、

七、市長の感想は？建設に伴う負担金について

これらの質問に対して市長は、用地確保とは、用地事務の事であり、費用負担について、今後県と協議すると答弁がありました。

国体開催まで、あとわずか九年です。その成功の為に県・市は、互いに協力し、早く、事業計画を明らかにしてほしいと思います。

宇野学区のさらなる発展を!!

宇野学区連合町内会

会長
長江勸次郎

わが宇野学区は人口一万六千人、すばらしい町である。

蓬萊橋を少し歩めば名園後楽園、橋のたもとに夢二美術郷土館、北には有数の就実女子大学、近くを近代科学の粋を集めた新幹線が通り、岡山駅に出るのもそう遠くない。

新鶴見橋を跨ぎイチョウ並

木の南側、威客を誇るプラザホテル、直ぐ隣の料理専門校。北側には最右翼の東警察署。名うての操山高等学校、東に眼を転ずれば、マルチメディアのメディアコム、その近くに医療技術専門校、ケヤ木並木を北へ、毎日活況の生協及び東の天満屋ハピータウン。

創立百周年を経た宇野小学校、九百人の生徒が学ぶ。操

昨年三月投票日の一か月

前、突然三木君の出馬が決まり尊敬していた故三木行治知事の縁で、成算もないまま後援会長を引き受けました。

時の勢

←6

いと言う

のは凄い

もので、

皆さんの

熱い支援でアツという間に

ピカピカの市会議員が誕生しました。

以後、市会議員の責務を果たして呉れるのだろうか



やる気に感激

後援会長 鈴木 保

方と市当局への対処、地域の世話役活動など、一年間の活動ぶりは立派なものでやる気に感激しています。

「梅檀は双葉より香し」の

生き生き婦人会

宇野学区婦人会

会長
正本あい子

昨年市議会議員の選挙の時はじめて三木亮治さんを知

診の通り三木家を継ぐ政治家としての素質を十二分に備えており、名知事の名を辱めることの不安は全くありません。しかし、アツと言う間の選挙がやはり気になります。同期の新議員で前回六票差で泣き、四年間初当選した方のような血のにじむ苦しみを知らないことです。

保

議員の選挙は、一期目には祝儀票があるが、二期目は実績だけが問われ一番きびしいと言われております。今後一層の努力を心から願います。

山の麓に県立盲学校、ユニークな施設に、精神神経科の林病院、多種多様な企業、施設の立地があるが、問題点が幾つもある。宇野小学校や幼稚園が手狭なこと。コミュニテ

イハウスがないこと。統合支援の誘致など、用地確保は喫緊の要がある学区としての難問題が眼前に横たわっている。これらを早急に解決しさらなる発展を冀うものである。

りました。いろいろの方から、そのお人柄を聞きこの方にはぜひ子供達の為になって頂けると、思いました。戦中・戦後を生きて来た私には、今の時代はむつかしい事が多く、心を傷めています。いじめとか、登校拒否とか、一日も早くなくしたいものです。ぜひ良い社会環境を作って頂けるように、三木さんをお願いしたいのです。私達もボランティアとして活動してゆきます。きっと子供達は見てくれると思います。



頑張るママたち

三好 知枝

宇野学区体育協会の婦人バレーボール部として、昭和四十八年度から本格的に、週二回、夜練習をしています。岡山市では、AランクからHランクの中Bランクの上位で頑張っています。二十才代から六十才代までのバレーの好きな人が集まり、大きな声を出し、汗を流して、ストレス解消が出来ればと思っています。子供の教育第一で、家庭に迷惑をかけないよう心がけ、一步一步前進して、地域の親睦と、健康に役立てればと願っています。



三木亮治

自己紹介

生年月日

昭和29年4月7日生

42才

血液型 A型

学歴 南方小卒

操山中卒

中央大杉並高卒

中央大経済学部卒

現住所

岡山市藤原西町

一〇二一五一一

電話 二七三三三二一四

家族 妻 美喜子 39才

長男 裕治 7才

次男 健司 5才

公職 ○経済委員会副委員長

○緑と水快適環境調査

○特別委員会委員

○都市計画審議会委員

○宇野幼PTA会長

○市幼P連顧問

○宇野育成会会長

○市子連C地区長



好物 ラーメン・アンパン
趣味 キャンプ
特技 料理・唄
尊敬する人 伯父三木行治

Ⅱ 亮治の料理Ⅱ

創刊を記念して亮治の得意料理をご紹介します。「地鳥の白ワインソース煮」です。

材料(四人分)

地鳥もも肉……………4枚

ドミグラスソース…一缶

白ワイン……………400cc

チキンコンソメスープ

作り方

①適当な大きさに切った肉に軽く塩・コショウをし、小麦粉をまんべんなくまぶす。
②適量のバターで肉を軽くこげ目がつくまでいためる。
③白ワイン・スープ・ドミグラスソースを入れ、クロールプ少々を入れ、三十分煮こんでできあがり。

事務局より

ミニ集会のお願い

ぜひミニ集会を企画して下さい。参加人数は何人でもかまいません。市政のことや様々な事についてお話しをさせて下さい。

ご意見を下さい

三木は市民の皆様のご意見を糧としております。市政に対するご意見や様々なご意見をお寄せ下さい。またこの後援会だよりの発刊は我々初めてのことです。紙面についてのご意見をお待ちしております。

後援会事務所について

下記の通り八月二日に事務所を開設いたします。市民の皆様のご意見ご要望をお聞きする場として、また後援会活動の拠点として開設いたしますので、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

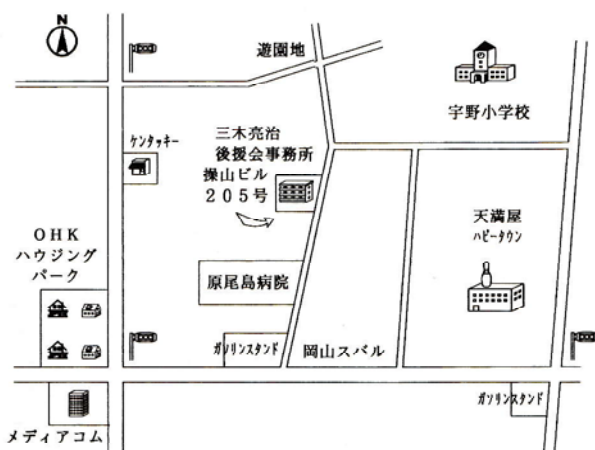
(注)留守の場合がありますのでお越しの前に一報下されば幸いです。

事務所開設

三木亮治後援会事務所

〒703 岡山市原尾島1丁目1-18-205号

TEL・FAX 271-0016



ご協力お願いします

後援会会員の皆さまにお願い致します。
三木亮治の市政活動を支援して下さい。
よろしくお願い致します。

個人協力会員

年会費 1口 1,000円

(何口でも結構です)

郵便振替口座番号: 01210-6-7771

郵便振替口座名: 亮 伸 会